



令和4年2月25日
九州地方整備局
熊本河川国道事務所

九州横断自動車道延岡線（矢部^{やべ}～清和^{せいわ}）における 直轄調査結果の送付について

この度、九州横断自動車道延岡線（矢部～清和）における直轄調査がまとまり、熊本県にその結果を送付したことをお知らせ致します。

直轄調査結果については別添のとおりです。

<問い合わせ先>

国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所

技術副所長 うばやし やすひこ
 鵜林 保彦

調査第二課長 ふじき あつし
 藤木 厚志

TEL 096-382-1242（直通）

【ルート・構造案】

○速達性、走行性、安全性向上による産業の活性化支援
現道の線形が厳しい箇所を回避し、重要物流港湾への道路ネットワークを確保による走行性、速達性の向上が必要。

九州横断自動車道 延岡線
(嘉島JCT～矢部IC)
延長 23.0km
(事業中)

延長 10.4km
R5年度
開通予定

延長 7.9km
(事業中)

延長 3.3km
(事業中)

延長 5.1km

延長 9.2km
(事業中)

延長 10.3m
(矢部～清和)

凡 例

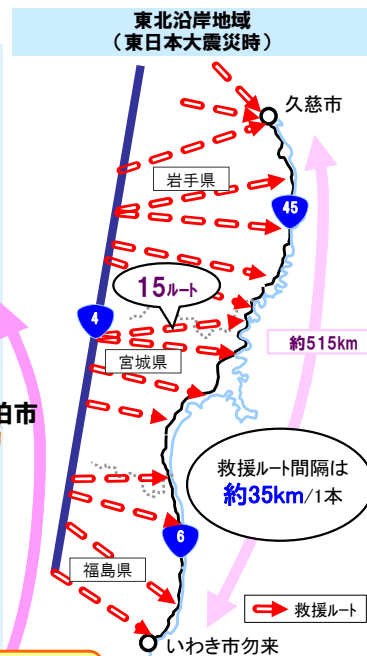
- 市役所・町役場
- 総合支所・支所
- 第3次救急医療機関
- 道の駅
- 八代港・細島港
- 災害による通行規制箇所

【標準横断面図】
土工部
12.00
1.75 3.50 1.50 3.50 1.75

【技術的な課題】

水による劣化や膨張性の高い泥岩を主とする脆弱な地山が発現する可能性のある区間をトンネルが低土被りで通過するため、切羽およびトンネル構造の安定対策を検討するなど高度な判断・技術力が必要とする。

- ### 【横断軸の緊急輸送道路の指定状況と災害履歴】



・土砂災害危険区域: 8箇所
・浸水想定区域: 6箇所

熊本県
山都町

写真①、②

大矢川

黒崎川

218

445

(仮)矢部IC

熊本川

阿保川

大矢川

黒崎川

浸水想定区域(山都町)

R218にかかる浸水想定区域

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

R218にかかる土砂災害警戒区域・特別警戒区域

(件)

市町村	災害発生件数
山形市	211
芦北町	154
御船町	112
阿蘇市	95
益城町	89

熊本県で最も災害発生件数が多い

県平均: 43件

※直近5年間の(H28-R2)の年平均自然災害件数

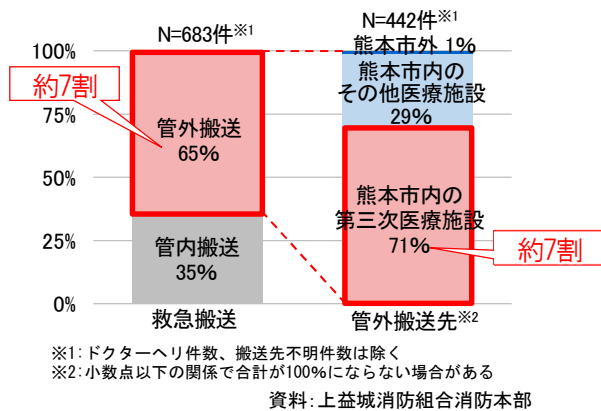
- ・山都町の年間災害発生件数は200件以上と熊本県で最も多く災害が発生しているため、安全、安心な暮らしの創出を重要視している。
- ・九州横断自動車道延岡線の1年でも早い事業化を望んでいる。

資料：R3 7月アライング調査

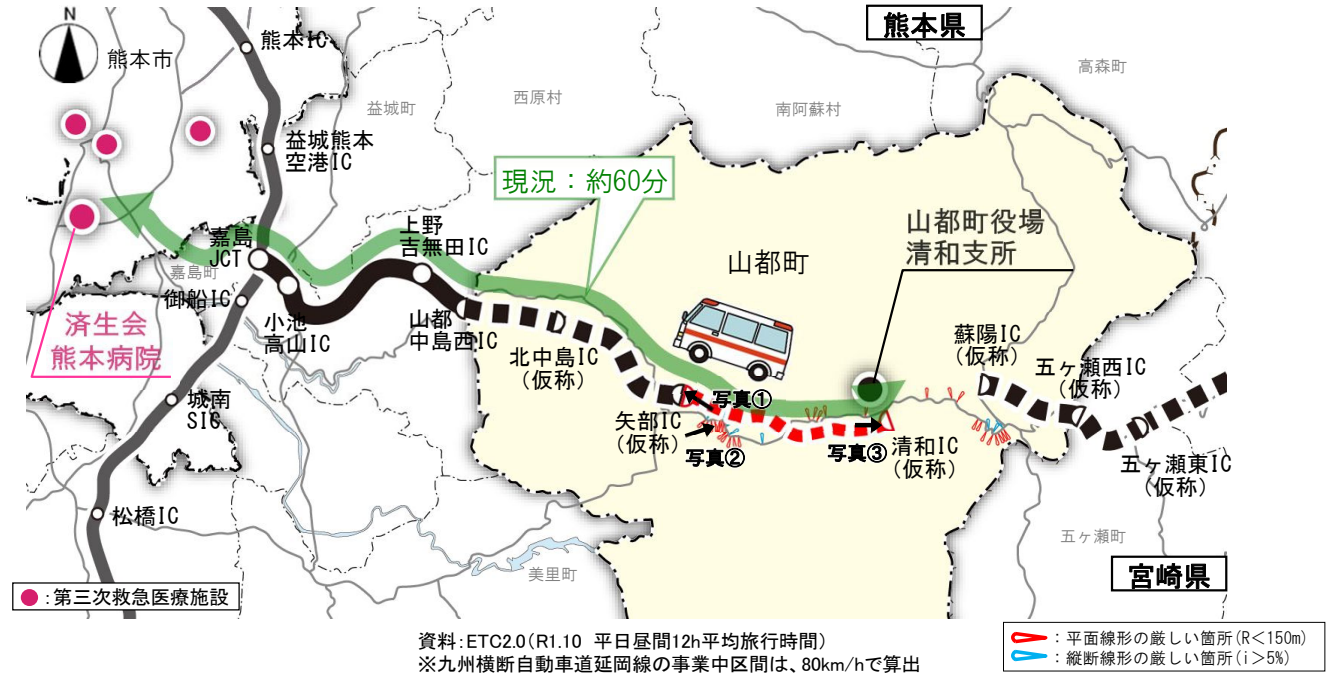
政策目標：速達性、走行性の向上による救急医療活動の支援

- 山都町の救急搬送は管外搬送が約7割を占め、熊本市内の第三次救急医療施設への搬送に60分以上を要する医療サービスの低い地域にあり、速達性が課題。
- また、国道218号は道路線形が厳しい箇所が多く存在しており、救急搬送時の患者への負担が大きい。
- 山都町から熊本市内の第三次救急医療施設へのアクセス性向上により、円滑な救急医療活動の支援が期待される。

【山都町の救急搬送先内訳(R2)】



【山都町から済生会熊本病院への所要時間】



【上益城消防組合 山都消防署へのヒアリング結果】

- ・山都消防署管轄内の搬送患者の約半数を熊本市内まで搬送している。搬送ルートとなる国道が途絶すると患者の命に関わります。
- ・搬送ルートである国道218号、国道445号はカーブが多く、患者への大きな負担となっていたが、九州中央自動車道の整備で安静な搬送、搬送時間短縮による救命率の向上に繋がります。

資料: H30. 7ヒアリング調査



▲線形が厳しい箇所(写真①)



▲線形が厳しい箇所(写真②)

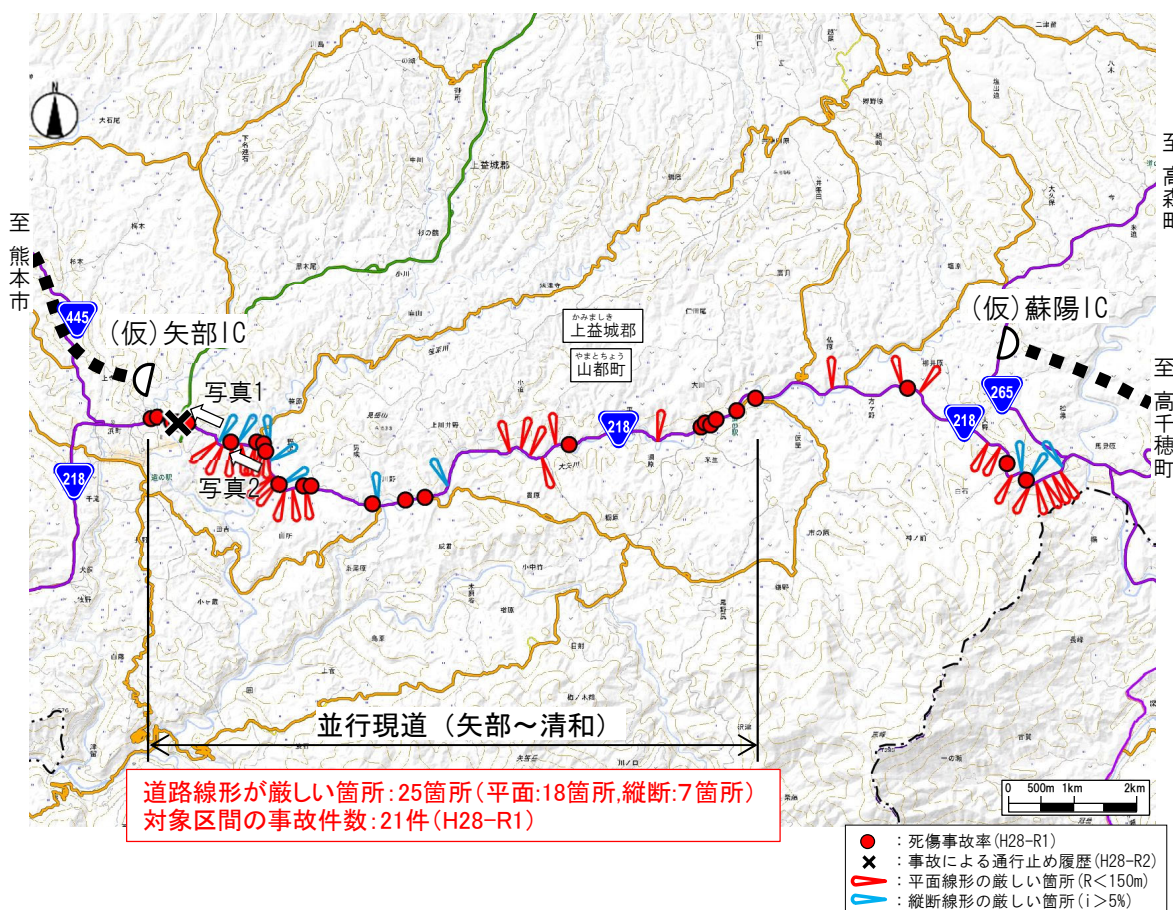


▲線形が厳しい箇所(写真③)

政策目標：走行性の確保や安全性の向上による安心した暮らしの支援

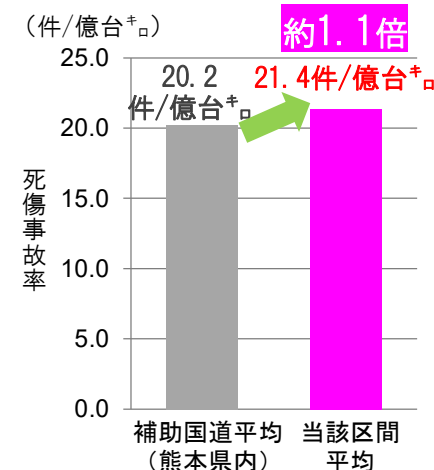
- 当該区間は、道路線形が厳しい箇所が連続するなど走行性が低く、死傷事故率は熊本県補助国道平均と同程度であるが、重大事故率は約2.5倍と高く、特に道路線形が厳しい箇所において横転事故などが発生し、通行止めとなるなど走行性や安全性が課題。
- 交通事故に伴う現道の通行止め時においても機能する道路ネットワークを確保するとともに、走行性が向上し、交通事故抑制による安全・安心な暮らしの支援が期待される。

【国道218号の現道状況と事故発生状況】

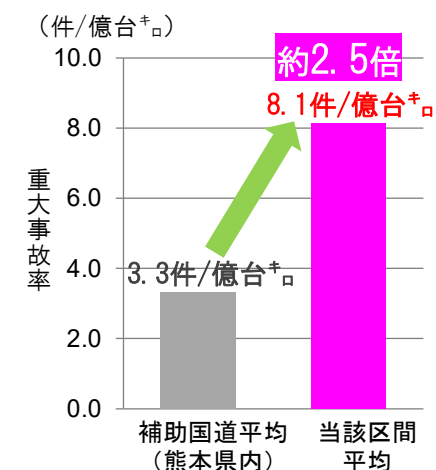


【当該区間の死傷事故率と重大事故率】

■死傷事故率



■重大事故率



※ITARDA (H28～R1)データ使用



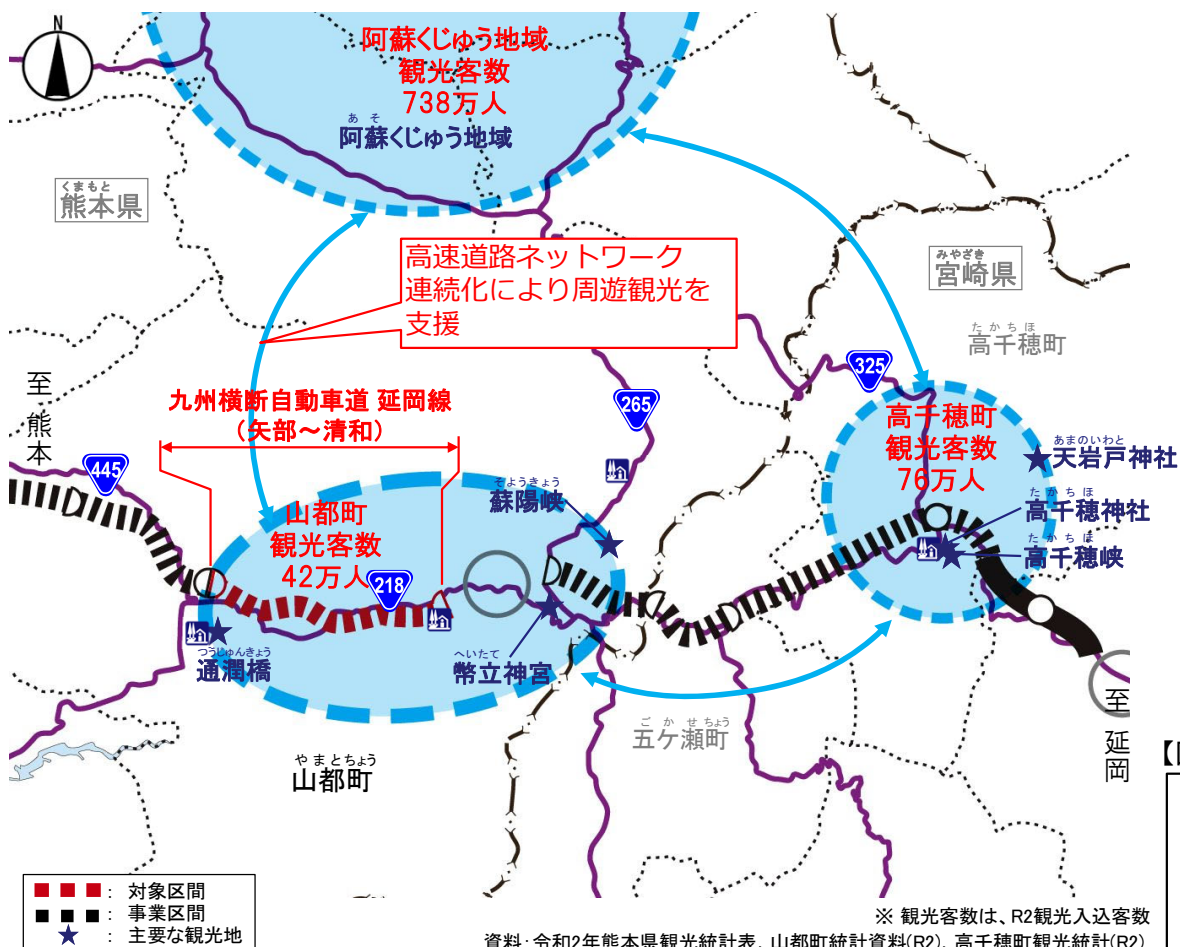
▲R2. 3. 17 カーブ区間横転状況写真



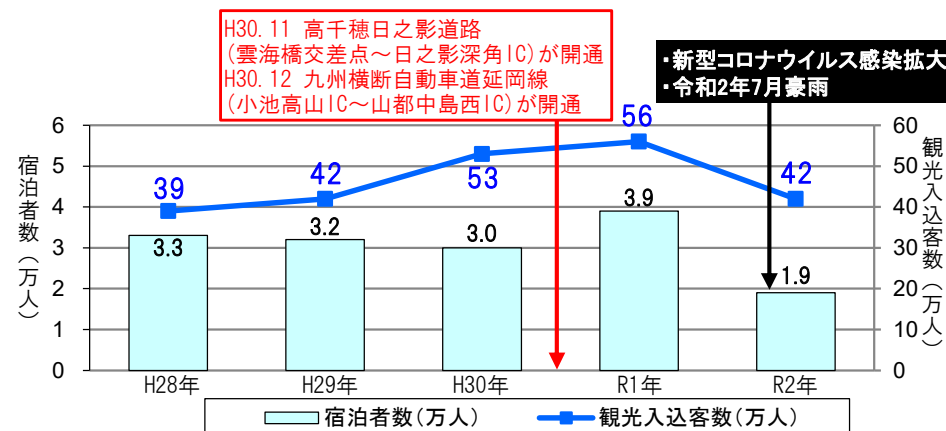
▲H17. 11. 19 カーブ区間横転状況写真

政策目標：速達性、定時性の確保による観光振興の支援

- 山都町は通潤橋や幣立神宮、蘇陽峡などの観光資源を有しており、観光客数は年間約56万人を推移するも近年では度重なる災害等の影響で、観光入込客数が伸び悩んでいる状況。
- 周辺地域には熊本県最大の観光拠点である阿蘇くじゅう地域や宮崎県有数の高千穂があり、高速道路ネットワークの構築により、速達性や定時性が確保され、点在する観光地間の回遊性が向上し、観光振興の促進が期待される。



資料：令和2年熊本県観光統計表、山都町統計資料(R2)、高千穂町観光統計(R2)



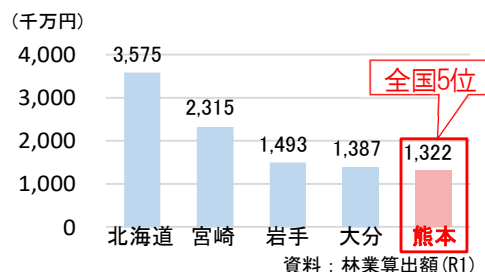
※ 阿蘇くじゅう観光圏HPより

【国民宿舎通潤山荘へのヒアリング結果】

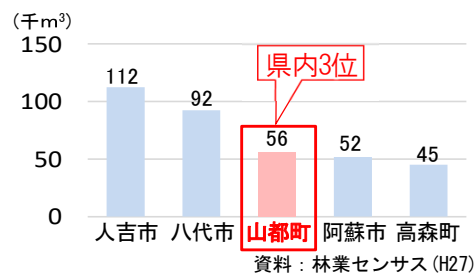
- ・九州横断自動車道延岡線の整備により、福岡方面に加えて、延岡市方面からのアクセス性が向上し、観光客の増加が期待できる。しかし、一方で福岡方面からの観光客の通過点となってしまうのではないかと懸念もある。
 - ・高千穂をはじめ延岡線沿線地域との連携は重要と考えているため、九州横断自動車道延岡線の整備により、沿線地域間での観光交流が促進されること期待している。
- 資料：R3.11ヒアリング調査

- 熊本県の木材生産額は全国5位、山都町は県内3位の林業素材生産量を誇る地域。
- 原木は国道218号を利用して山都町から八代港へ輸送し、中国、韓国など海外へ輸出している。
- 輸送経路である国道218号は、道路線形の厳しい箇所が多く存在し、大型車の横転事故が発生するなど、輸送効率が低下しており、走行性に課題。
- 並行する国道218号の線形が厳しい箇所の回避により走行性が向上し、円滑な輸送の実現による地域産業振興の支援が期待される。

【全国の木材生産額】(上位5位まで表示)



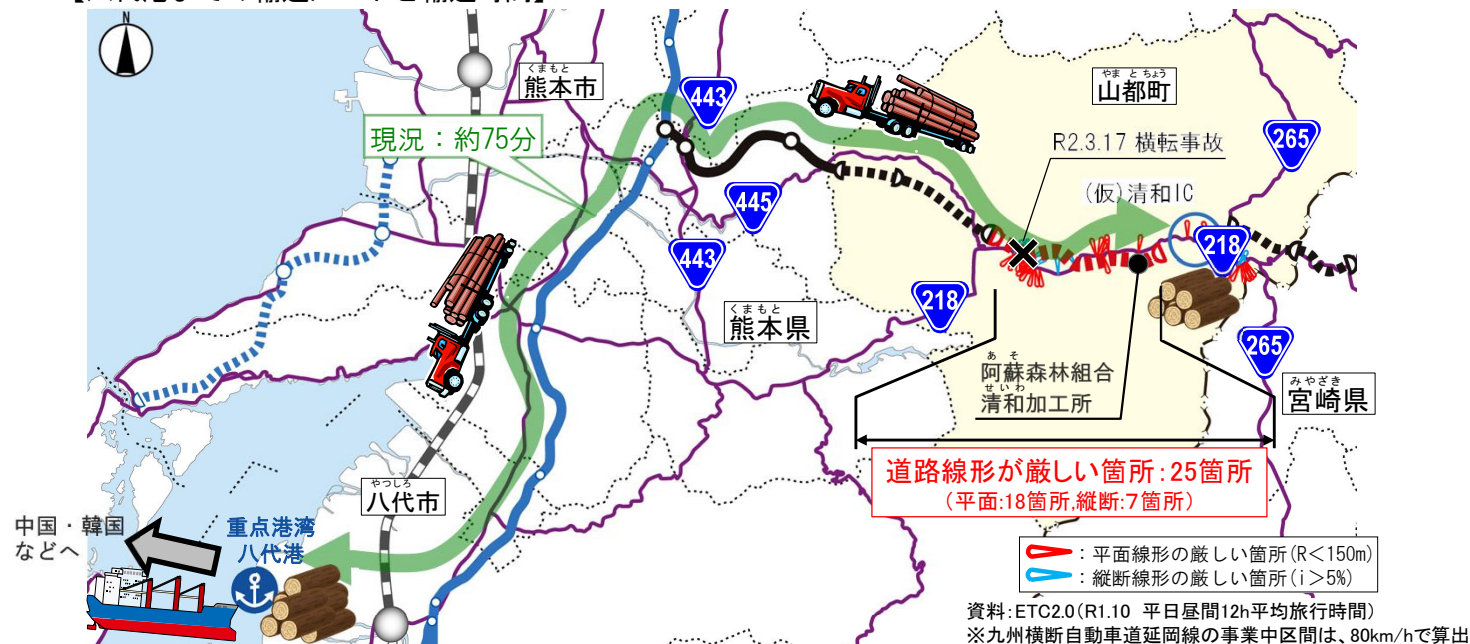
【熊本県の林業素材生産量】(上位5位まで表示)



【緑川森林組合へのヒアリング結果】

- ・清和地区や蘇陽IC周辺の現場から組合の市場への輸送時間短縮という効果は考えられる。輸送時間が短縮すればドライバーの心理的にも余裕ができ、輸送時の安全性も向上する。
 - ・九州横断自動車道延岡線が開通したら熊本方面や延岡方面など町外からのアクセス性が向上するので、林業体験等のイベントを実施し、林業をより身近に感じてもらえる取り組みができればと思う。
- 資料：R3.11ヒアリング調査

【八代港までの輸送ルートと輸送時間】



▲原木輸送の状況

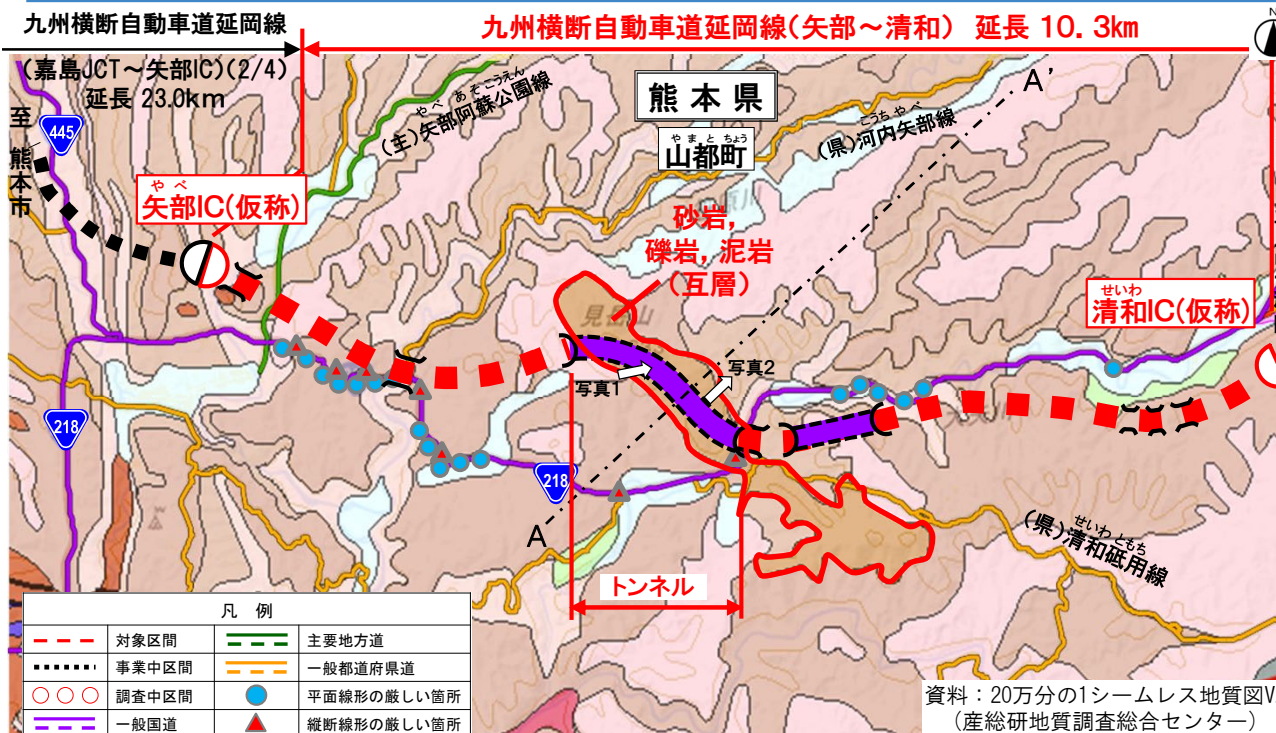


▲交通事故状況



▲原木輸送の状況

- 当該区間は急峻な山地と谷地形からなり、トンネル等により通過するルート計画である。
- 水による劣化や膨張性の高い泥岩を主とする脆弱な地質が発現する可能性のある区間をトンネルが低土被りで通過するため、トンネル掘削時に切羽の不安定化や突発湧水による切羽崩落等の危険性が想定される。
- 以上により、切羽およびトンネル構造の安定対策を検討するなど高度な判断・技術力が必要。



【当該地域の地形・地質の特徴】

- ・当該地域は阿蘇火砕流堆積物などが分布する阿蘇外輪山に位置し、砂岩・礫岩・泥岩で構成された基盤が分布。
- ・当該地域には脆弱な地質である泥岩や湧水も確認されており、加水時の膨張による脆弱化や崩壊などの発生の可能性がある。



写真1 現地踏査写真(泥岩)



写真2 現地踏査写真 (地表面湧水状況)

